

## 個人的信念などから輸血を拒否される方へ

とちぎメディカルセンターしもつがでは、救命・生命維持を最優先に治療に当たっていますが、個人的信念などから輸血を拒否される方に対し、患者さんの意思を確認した上で、以下の基本方針に則り治療を行いますので、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

- 1 無輸血での手術や治療が可能であると医師が判断した場合
  - ◆ 患者さんの自己決定権を尊重し、指定外の輸血は行いません。
- 2 無輸血での手術や治療ができない、または、できるかどうかかわからないと医師が判断した場合
  - ◆ 時間的に余裕がある待機的な手術や治療の場合は、他の治療法への変更や転院をお勧めすることがあります。
- 3 緊急手術や緊急の治療(救急搬送や院内での予期せぬ急変など)の場合
  - ◆ 患者さんの意思の事前確認が可能であり、かつ、無輸血での手術や治療が可能であると医師が判断した場合は、指定外の輸血は行いません。
  - ◆ 患者さんの意思の事前確認が可能であっても、無輸血での手術や治療ができない、または、できるかどうかかわからないと医師が判断した場合は、最大限の代替え治療を行った上で、生命維持を優先し、輸血を行うことがあります。
  - ◆ 患者さんの意思の事前確認ができない場合、最大限の代替え治療を行った上で、生命維持を優先し、輸血を行うことがあります。
  - ◆ 輸血を行う場合は、患者さん本人またはご家族、あるいは両者に対して、輸血の必要性と輸血を行わない場合の危険性等を十分に説明し、同意が得られるよう最大限努力します。

なお、患者さんが持参される免責証明書等の「絶対的無輸血」を誓約する文書に署名・捺印はいたしません。

※ 絶対的無輸血とは、患者さんの意思を尊重し、たとえいかなる事態になっても輸血しないという立場・考え方です。

とちぎメディカルセンターしもつが 病院長